

プロポーズに最適 四季楽しめる観光地

山県の伊自良湖

「恋人の聖地」に

NPO認定

プロポーズにぴったりの「恋人の聖地」として山県市長滝の伊自良湖が認定され、モニュメントの除幕式が21日、湖畔であった。市はロマンチックな観光スポットとしてアピール。若いカップルが集まる場所になりたいと期待している。

NPO法人地域活性化支援センター（静岡市）が、市の申請を受けて1月に認定した。

伊自良湖は周囲約2・4キロの山々に囲まれたダム湖。春は桜、夏は水遊び、秋は紅葉、冬はワカサギ釣りなど、四季の自然を楽し



ベンチは恋人同士が座ると肩を寄せ合うように作られている＝山県市長滝

める。近くの甘南美寺には、県指定天然記念物で樹齢約350年の桜の木もある。市の担当者は「手をつないで湖畔を散歩したり、お寺にお参りしたり、恋を育むのに適している。若者の移住・定住にもつながれば」。

モニュメントはハート形のフレームを重ね合わせて

恋が集まる場所を表現。ベンチは恋人同士が座ると自然に肩を寄せ合うようにできている。各務原市の歯科衛生士古田朱理さん(23)は「桜が咲いてボートを一緒に漕いだら楽しそう。ベンチのデザインもかわいい」と話した。

恋人の聖地は1日現在で全国に135カ所あり、県内では関ヶ原町の「伊吹山ドライブウェイ」に次いで2カ所目だ。（竹井周平）